

# はじめての 「経営分析入門」講座



問題集編

中小企業研修協会



この問題集は、はじめての「経営分析入門」講座の講義編を読み終えた人のために作成されたものです。内容は、経営分析の基本的な問題が「計算」「穴埋め」「正誤」などで出題編集されています。

講義編をしっかり、読み込んだ方にはやさしい内容になるでしょう。

経営分析は実際に自ら手を動かし、計算することで、知識が定着します。そういう意味では「本を読んだ」「あるいは講義を聴いた」だけでは十分とはいえません。

この問題集は、左側に「問題」、右側に「解答解説」を配置しております。このため、問題を解いてすぐに確認できます。

チェック欄を活用し、2、3度繰り返すことで、知識の定着と理解を深めて下さい。

「講義編」と「問題集」は、いわば車の両輪です。両方を上手に活用することで、知識を定着させ、今後のビジネスに活かして下さい。

中小企業研修協会 編集部

## ■ 支払能力を知る

### 問題 1

つぎの (①) から (②) に入る選択肢を選びなさい。

会社の支払能力を知る経営分析の一つに (①) があります。

(①) は、(②) をつかって、計算されます。

- (選択肢) (a) 流動比率 (b) 損益計算書 (c) 自己資本比率  
(d) 貸借対照表 (e) キャッシュフロー計算書

チェック欄

--	--	--

### 問題 2

つぎの (①) に入る選択肢を選びなさい。

流動比率の計算式は、つぎのとおりである。

$$\text{流動比率 (\%)} = \frac{\text{流動資産}}{\text{(①)}} \times 100$$

- (選択肢) (a) 流動負債 (b) 固定資産 (c) 固定負債

チェック欄

--	--	--

---

### 解答 1

- ① (a)      ② (d)

#### <解答全文>

---

会社の支払能力を知る経営分析の一つに（流動比率）があります。  
（流動比率）は、（貸借対照表）をつかって、計算されます。

---

### 解答 2

- ① (a)

流動比率の計算式は、つぎのとおりである。

$$\text{流動比率 (\%)} = \frac{\text{流動資産}}{\text{(流動負債)}} \times 100$$

#### 解説

流動比率は「支払能力」を知る代表的な経営分析の一つです。自社の支払能力はもちろん、他社の支払能力も知ることができます。つまり、与信管理にも応用できます。